

# 東京湾海況情報 27-1

## 東京湾水質調査結果（平成27年4月）

（平成27年4月17日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 4/6：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）  
 関東・東海海況速報（4/6）、東京湾口海況図（4/6）  
 モニタリングポスト（4/6：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁）  
 東京都環境局（4/7）

東京湾海況情報は、毎月1回行っている水質調査の結果をとりまとめ、ホームページで公開しています。どうぞ御利用願います。

### 【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温（図1）は13～16℃前半で、内湾では平年より約1℃高くなっています。塩分はほぼ全域で30～34PSU台で、内房北部から内湾では平年より高めになっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布（図3）では、塩分33.5PSU以上のやや高い水塊が内湾中央部の水深20m付近までみられています。

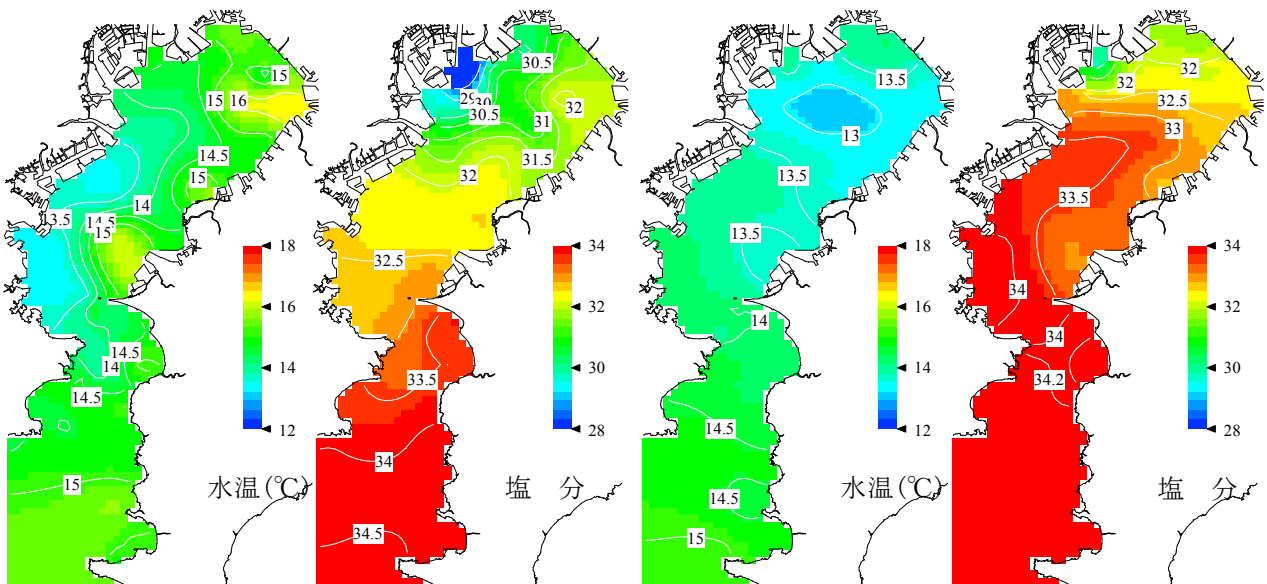


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

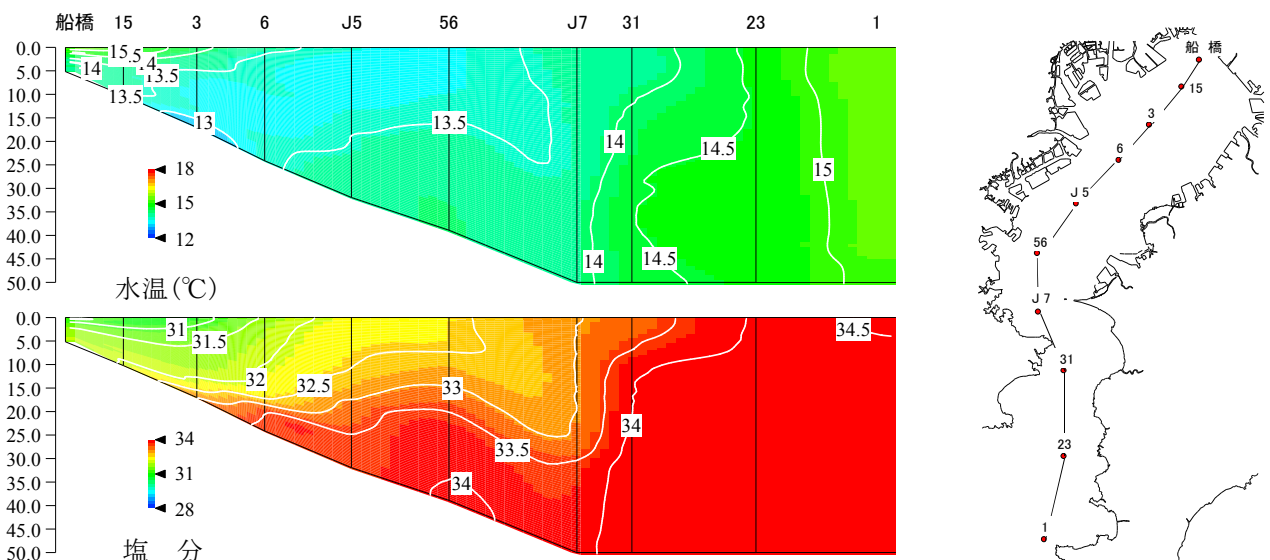


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布（上：水温、下：塩分、右：調査ライン）

### 【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していませんが、羽田沖から浦安・船橋にかけての内湾北西部側では、pHが8.4~8.5とやや高く、水色もやや褐色を呈しているところがありました。

プランクトンはケイ藻のタグチリオソレン (*Dactyliosolen fragilissimus*) とレプトキリンドルス (*Leptocylindrus danicus*) がやや多くみられ、羽田沖では渦鞭毛藻のヘテロカプサ (*Heterocapsa triquetra*) が優占でした。一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンは少なく、ケイ藻類がみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu\text{g/L}$ 以上

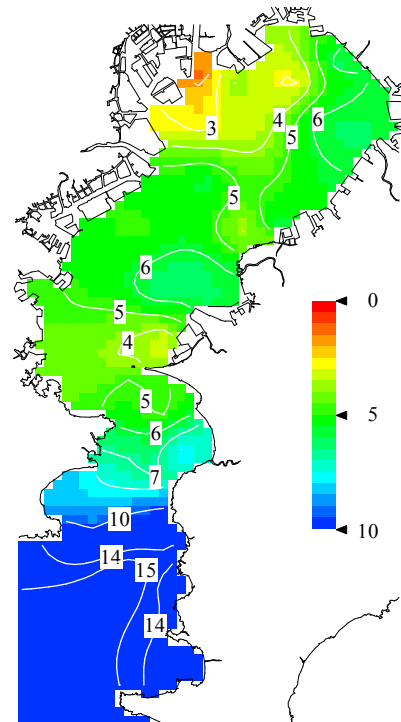


図4 透明度の分布 (m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低いところで4ml/L前後あり、貧酸素水塊は発生していませんでした。

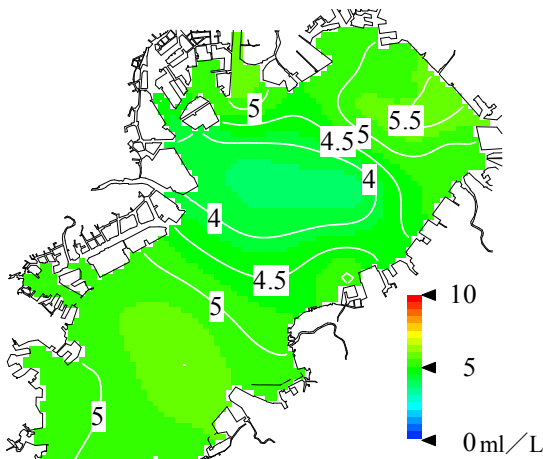


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

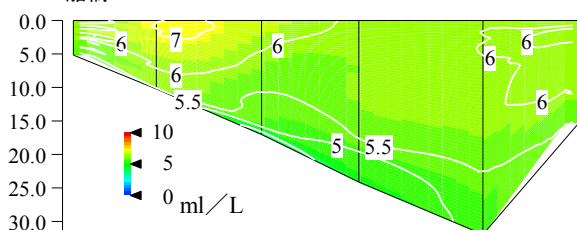


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)ともほぼ全域で平年並みからやや多めになっています。

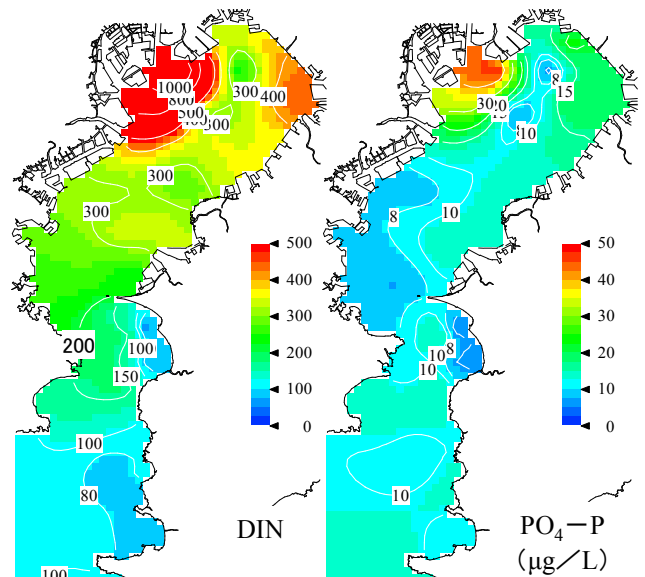


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は6日現在青ヶ島の南側を通過した後、北上し、房総半島南東岸を離岸しながら流れています(図8)。

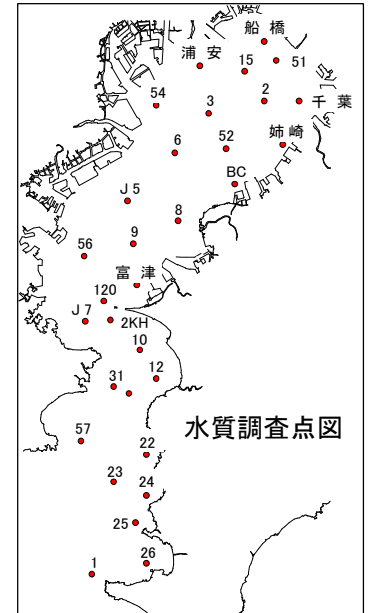
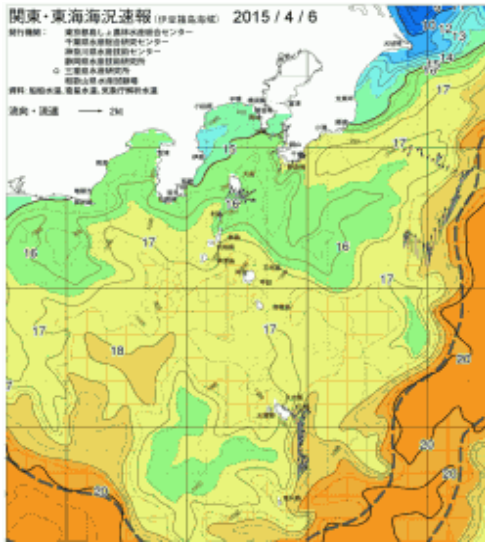


図8 黒潮の動き (平成27年 4月 6日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	15.2 (14.1)	31.05 (30.54)	5.4 (2.1)	8.4 (8.5)	5.2 (6.4)	110 (53)	367 (355)	22 (18)
	st.15	15.0 (13.6)	30.81 (30.55)	3.0 (2.6)	8.5	5.3 (4.6)	8 (38)	233 (351)	4 (8)
	st.3	14.2 (13.5)	30.79 (30.54)	3.5 (3.0)	8.5	3.6 (4.3)	57 (28)	346 (370)	6 (4)
	st.6	13.8 (13.4)	31.62 (30.15)	5.8 (3.2)	8.4 (8.4)	3.9 (4.2)	101 (45)	383 (445)	12 (7)
	st.9	15.9 (13.6)	32.20 (31.26)	6.4 (3.6)	8.3 (8.4)	5.5 (4.8)	75 (24)	326 (283)	12 (4)
	st.BC (盤洲Cブイ)	15.0 (14.0)	31.74 (31.68)	5.9 (3.2)	8.4 (8.4)	5.1 (5.0)	80 (31)	339 (276)	11 (7)
	st.8 (盤洲A南)	14.3 (13.6)	32.41 (31.86)	6.3 (3.5)	8.3 (8.3)	4.9 (4.6)	67 (34)	317 (270)	11 (9)
	富津	15.9 (13.9)	32.89 (31.74)	3.6 (3.6)	8.3 (8.3)	5.3 (5.0)	50 (35)	220 (244)	10 (5)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	14.3 (13.6)	32.84 (32.59)	5.0 (4.9)	8.3 (8.3)		34 (27)	176 (213)	9 (7)
	st.31	13.8 (13.5)	33.16 (32.76)	7.0 (5.4)	8.2 (8.2)		16 (15)	161 (200)	9 (5)
	st.23	14.7 (15.3)	34.08 (34.10)	16.0 (9.6)	8.2 (8.2)		12 (11)	76 (48)	9 (5)
	st.1	15.4 (15.4)	34.59 (34.32)	15.0 (11.6)	8.2 (8.1)		23 (9)	95 (61)	11 (7)
	st.10 (下洲沖)	14.3 (13.9)	33.62 (33.10)	5.0 (5.6)	8.3 (8.2)		17 (20)	144 (167)	12 (7)
	st.12 (湊沖)	15.0 (14.1)	33.50 (33.31)	8.0 (5.4)	8.2 (8.3)		20 (13)	75 (114)	5 (5)
	st.22 (保田沖)	14.8 (15.2)	34.26 (34.18)	14.0 (8.6)	8.2 (8.2)		22 (12)	84 (59)	10 (5)
	st.24 (富山沖)	14.9 (15.4)	34.26 (34.29)	13.0 (10.7)	8.2 (8.2)		32 (12)	81 (47)	11 (6)
	st.26 (館山湾内)	15.0 (15.6)	34.28 (34.31)	13.0 (9.9)	8.2 (8.2)		15 (12)	66 (45)	8 (6)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。